

地震予知研究ノート No.3

佃 為成

(東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター)

2008年9月

目次

		ページ
前兆現象の研究のための観測点	佃 為成	3～11
前兆現象研究観測点の概要（1995年～2008年）	佃 為成	12～38
兵庫県猪名川町井戸水温上昇変化	佃 為成	39～40
東海地方の水温上昇変化	佃 為成	41～42
2004年紀伊半島沖地震（M7.4）の前兆的水温変化と地殻変動	佃 為成	43～49
2008年四川大地震（M8.0）と海潮温泉の水温上昇変化	佃 為成	50～51
温泉の電気伝導度測定	佃 為成	52～53
和歌山観測所地電位観測	佃 為成	54～61
樹木電位観測	佃 為成	62～72
井戸水電位観測	佃 為成	73
亀岡市の井戸水の濁り	佃 為成	74～75
静岡市中島下水浄化センター内地下水観測点設置の手続き	佃 為成	76～81
焼津市大富小学校内地下水観測点設置の手続き	佃 為成	82～87

淡路市ぬるゆ温泉地下水観測点設置の手続き	個 為成	88
重点観測点について	個 為成	89～91
付録：地下水化学分析結果および試料一覧		92～106
付録：水温・水位データグラフ一覧（抜粋）		107～118

井戸水電位観測

佃 為成

大地震前に地電流が発生するかどうかを調べる目的で地電位や井戸において水中電位を観測している。

測定地点は近畿地方の猪名川（柏原・きのこ園）や猪名川（柏原・中林）、有馬温泉妬泉源、長野県の白馬（倉下の湯）である。

その中で、兵庫県猪名川町柏原のきのこ園自噴井の中の水の電位のデータを紹介する。1998年から2005年までは、地面に電位基準（アース）をとって水の電位を計っていた（データファイル：kwe.dat）が、2005年以降は水の中の2点間の電位を測定している（ke.dat）。電極は銀板（1cm x 2cm 厚み 1mm）を使用。

